

SBSTA20 結果概要

議題: Small-scale afforestation and reforestation project activities under the CDM

期間: 2004年6月16日(水)～25日(金)

コンタクトグループ議長: Ms. Thelma Krug(ブラジル)

総論

事務局作成のテクニカルペーパーをベースに、簡素化された方法及び手続き等について CG(コンタクトグループ)により議論。バンドリング、低所得層の参加/開発の証明方法など合意に至らなかった事項及び小規模吸収源 CDM 促進方策については、COP10での採択に向け、SBSTA21で引き続き議論することを確認。

各論

主要項目	内 容	備 考
ベースライン	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベースラインはクレジット期間中一定(顕著な変化が起こらないことを示せる場合) 2. 顕著な変化が想定される場合は理事会により開発される簡素法を活用 3. 理事会により、草地、農地、湿地、居住地の四タイプの簡素化されたベースラインを開発 4. 理事会は COP11 までに土壌・気候条件等を考慮した既定値を開発 	プロジェクト開始前に測定
モニタリング	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベースラインのモニタリングは必要なし 2. 理事会は COP11 までに現実純吸収量計測のための簡素法を開発 3. 理事会は一つ以上の炭素プールを除外可能とするための簡素法を開発 	
リーケージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクト実施により各種活動や人を境界外に追い出すことがないことを示せる場合等は計測不要 2. 上記以外は計測が必要(理事会で計測のためのガイドラインを開発) 	
環境・社会経済影響の分析・評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境及び社会・経済影響の分析を実施 2. 顕著なマイナス影響がある場合は評価等を実施 	
有効性審査、認証・検証	同一の指定運営機関が実施することが可能	
追加性	理事会は追加性に関するバリアを排出源 CDM を参考に開発	
バンドリング	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバンドリングの3基準(同一参加者、登録期間2年以内、距離1km以内)については合意 2. バンドリングは可能であるが手法等について未合意(ホスト国が調整することを G77 + 中国が提案) 	最終局面で調整未了
低所得者層の参加の証明	ホスト国による書面が必要との提案(G77 + 中国)について未合意	G77 + 中国で調整未了

(注) は今次会合で未合意の箇所